

校長講話 22

令和5年 10月16日(月)

おはようございます。

さて、2学期が始まって、1週間すぎました。

気持ちを切り替えて、新しい気持ちで目標、めあてを立て、いいスタートが切れたでしょうか。

毎日暑かったのうそのように、涼しくなってきましたね

岩淵小の「ち」は、「力いっぱいチャレンジ」でしたが、さっそく運動会の練習が、多くなっているようです。今週も、怪我のないよう、協力してがんばって取り組んでいきましょう。けさの校長先生のメッセージは先週始まった応援団や6年生の吹奏楽の校庭での練習についての岩小タイムズです。日々、上手になっていくのを楽しみにしています。

さて、今日は、15日から始まった「新聞週間」についてお話しします。

みんなの教室には、毎日新聞を届けてもらっていますが、これは、北区の小学校だけの特別なものです。新聞をつかった学習に力を入れているので、新聞を作り、配達している会社が、みんなのために届けてくれているものです。

新聞は、私たちに新しいニュースや情報を伝えてくれます。事件や事故だけでなく、スポーツや音楽やまたは仕事でがんばっている人を紹介したり、解決しなければならない問題を詳しく調べて伝えたり、役立つ知識を増やし考える材料やヒントを私たちにくれます。

わたしも、毎日目を通して、新しいことをたくさん知ることができ、そのひとつを選んでみなさんに紹介しています。

「これはみんなに、ぜひ知ってほしいなあ、考えてほしいな」と思うことを選んでいるので、みなさんも、校長先生はどんなことを伝えたいのかな、と考えながら読んでくれるとうれしいです。

また教室に届けてくれる係の人は、教室にただはるだけでなく、どんなことが書いてあるか、先生やクラスの人に伝えてください。

教室にいつも新聞がある という この恵まれた環境に感謝して、新聞に興味をもち、手に取ってみてください。

最後に、今年の「新聞標語」の入選作の中から3つの作品を紹介します。

「今を知り 過去を学んで 明日を読む」

「きょうもよめた すこしだけおねえさんになった」

「けさの記事、きのうの「なぜ」が「なるほど」へ」

みなさんも、もっともっと新聞と仲良くなってください。お話を終わります。